

知内町観光振興計画の基本体系

観光立国推進基本法・計画

- ・観光を基幹産業へ成長
- ・国際感覚に優れた人材育成
- ・旅の喜びを実感できる環境整備
- ・安全安心に観光できる環境整備

北海道観光のくにづくり 条例・行動計画

- ・観光地づくり
- ・誘客活動
- ・受入体制整備
- ・ウィズコロナ・ポストコロナ

第6次 知内町まちづくり総合計画 (平成28～令和7年度)

- 「まちの資源を生かして賑わいをつくる(交流)」
- ・人と人が交わる観光
 - ・魅力あふれる特産品
 - ・道の駅しりうちの魅力を高める
 - ・食の観光を推進する

第2期 知内町まち・ひと・しごと創生 総合戦略 (令和2～6年度)

- 「地域産業の活性化による魅力あるまちづくり」
- ・交流人口の拡大による地域産業の活性化

知内町の観光の現状

- ・新幹線木古内駅から好立地
 - ・函館江差自動車道が延伸
 - ・道南の秘境「矢越海岸」
 - ・青函トンネル出入口
 - ・歴史ある「知内温泉」「雷公神社」
 - ・ニラやカキなどの食材
 - ・各種イベント
- などの観光資源が存在

知内町の観光関連の課題

- ・観光資源が点在
観光スポットが点在しており線や面で結び付いていない。
- ・宿泊施設の受入環境
トイレや風呂が共同現代に合った個室タイプが少ない。ネット予約ができない。支払方法が多様化していない。
- ・飲食店の受入環境
土日祝日に休業が多い。イベント・キャンペーンが少ない。支払方法が多様化していない。
- ・交通手段
路線バスの本数が少ない。
- ・観光案内所及び観光ガイド
観光案内所が未整備であり、観光ガイドも不在である。
- ・観光土産品
観光の記念に残る土産品が少ない。
- ・情報発信
情報発信の積極性が足りない。

知内町観光振興計画(令和4～7年度)

<基本理念>

観光で稼ぐ地域づくり
観光関連事業者・町民・行政の協働により、観光で外貨を稼ぐ。

<計画目標>

指標	基準年(令和2年)	目標年(令和7年)	増加指数
年間観光入込者数	89千人	103千人	毎年5%増加
年間観光宿泊数	15,500人泊	17,900人泊	毎年3%増加
年間観光消費額	556百万円	709百万円	毎年5%増加
来訪者満足度	43%	53%	毎年2ポイント増加
リピーター率	56%	66%	毎年2ポイント増加

<具体的な施策>

- ・観光関連事業者の意識醸成
知内町と観光協会が連携し、関係機関との協同・協力のもと研修会の開催、ネット予約・キャッシュレス化の支援を実施
- ・観光プランの造成
特別料理、体験観光などをテーマに知内観光協会による宿泊助成事業の実施
- ・町内店舗の利用促進
店舗周遊スタンプラリーの実施
- ・観光ガイドの育成
ガイド人材育成のため講習会の開催
- ・積極的な情報発信
パンフ・ウェブサイト・SNSの活用
- ・観光関連公共施設のあり方の協議
道の駅しりうち、かき小屋、北島三郎ギャラリーの課題洗い出しや問題解決の協議・検討

<推進体制>

【推進団体】

知内町

- ・合意形成・意見集約
- ・施策・事業立案
- ・予算確保
- ・情報発信

↑ 連携 ↓

知内観光協会

- ・会員の営利事業
- ・情報発信
- ・知内町との連携

協働

協力

協力

【観光関連事業者】

- 宿泊事業者
- 飲食事業者
- 観光事業者
- 交通事業者

【産業団体・事業者】

- 農協
- 漁協
- 森林組合
- 農業者
- 漁業者
- 林業者

【町民】